

# 10年後の門池が豊かであるために、 今できること、すべきことを考え行動しよう

静岡県沼津市 門池コミュニティ推進委員会



地域振興プロジェクトチーム

はじめに  
地域の児童数の増加から昭和47年に門池小学校が開校し、門池地区が始まり、その後、平成11年門池地区連合自治会・平成12年門池コミュニティ推進委員会が組織された。沼津市の北東部に位置し、東名・新東名ICが近く、国道1号線や246号線などの幹線道路が通り交通の便がよく、近年は区画整理事業の進展に伴い人口の増えている

る地域である。

## 1. 新たな地域活性化事業の定義と活動チームの組成

平成29年、地域コミュニティの希薄が顕在化し「何もしないのは衰退を招く、地域振興や地域の絆の醸成のために、自分たちができることを、今から始めなければ」と感じた。課題解決には、新たな地域活性化が必要であると考え、地域の特性を学び合うことが地域愛であり、地域愛がコミュニティへの帰属性を強めるものだと考えた。門池地区の歴史・文化を掘り起こし、磨き上げ（学び・考え・思いを寄せる）、ブランド化し、世界に発信することが新たな地域活性化であると定めた。

る。

新たな地域活性化事業を始動するに際して、既存の組織の枠組みでは対応しきれない部分もあるため、門池コミュニティ推進委員会の会長の諮問機関「地域振興プロジェクトチーム」が主に担うこととし、組織を横断して事に柔軟に対応するため、部会にはせずチームという形にした。

## 2. 地域資源の掘り起こし磨き上げと情報発信

まず、門池地区の歴史と文化の掘り起こしとして、「門池の歴史アーカイブ事業」を展開した。

門池には門池の竜という民話があり、その





門池まつりの開催



写真上) 途絶えていた門池音頭を復活  
写真左) 民話「門池の竜」をCG動画として  
作成

物語を3DのCG動画として作成した。途絶えていた門池音頭を復活させた。これらは、門池地区で夏に行われている門池まつりの場で披露された。そのほか、沼津明治資料館と沼津文化財センターの協力を得て、門池の歴

**この夏、門池で、手ぶらでバーベキューを楽しもう!!**

京東元年産沼津市公民館支援基金「コミュニティ」門池公園公民館活用事業

■場所: 門池地区センター

■開催日時: 7/21~8/31  
月曜、8/23、4はお休み  
■時間: 10時~15時

■予約: <https://kadoke.localinfo.jp/>又は、地区センターで受付中!

★1テーブル4人基本料金: 8,000円

●材料: 牛ステーキ(24~30枚)  
●食材等: 牛豚鶏焼肉・野菜4人前・調味料・食器類・炭  
●サドメニュー有り・持ち込みOK!  
●ビール飲料は会場にて販売中  
●体験学習に参加しましょう!  
※詳しくは、地区センターにお電話ください。

●牛豚・鶏焼肉セット

■取消: 雨天は、中止 ※お客様都合は2日前までをお願いします。

「手ぶらでBBQ」開催チラシ

令和元年度、新たな地域活性化事業を継続していくためのコミュニティビジネスを企画した。地域資源である門池公園を活用しながらビジネスの手法により地域の課題を解決し、地域を元気にする取り組みである。平成30年に

### 3. 沼津市初のコミュニティビジネス・バーベキュー事業の誕生

令和元年度、新たな地域活性化事業を継続していくためのコミュニティビジネスを企画した。地域資源である門池公園を活用しながらビジネスの手法により地域の課題を解決し、地域を元気にする取り組みである。平成30年に

史資料のデジタル保存を進め、その入れ物としての門池コミュニティ推進委員会ホームページを立ち上げ、門池地区の特徴や歴史などを紹介している。また、一つ一つの既存行事の意義目的を共通認識できるように、今一度一つ一つの既存行事を丁寧に磨き上げ、平成30年度の門池地区連合自治会20周年記念行事の企画運営に精励した。

### 4. 沼津市初のコミュニティビジネス・バーベキュー事業の取り組みと成果

同市で官民協働の公共空間利活用のための「パークマネジメント」が施行され、翌年「沼津市民間支援まちづくりファンド」を資金に、地区のシンボル門池公園での「完全手ぶらスタイル」バーベキュー事業を夏から開始する。

コミュニティビジネスの舞台となる門池公園は、沼津市に二つある総合公園のひとつである。沼津市の中では桜の名所として有名で、門池と共に門池公園の桜は沼津の宝100選に選定されている。

本来は公園でのバーベキューは禁止なので、バーベキューをやってもいいという誤解が生じないよう、公園北西部に隣接する門池地区センター前の芝生を提供場所とし、公園の使用許可を沼津市から受け、飲食物の販売なので保健所から露天商の許可も取った。場所の広さから機材は5セット用意し、食材と飲み物を販売するが、在庫をあまり持たないため、食材と飲料の持ち込みは自由とした。参加者は子どもから高齢者まで幅の広い年齢層でサークルの仲間・団体・子供会・ご家族・ご近所・職場仲間等のお客様も「来年もやってほしい」とおおむね好評であった。



写真上) 完全手ぶらスタイルでBBQを楽しめる  
写真右) 機材を用意し食材を販売

令和2年コロナ感染症の影響で「バーベキュー事業」運営が難しいとされながらも、夏は昨年の顧客リストでDM発送、多くの申込があったが感染拡大期に入り中止、秋・春に規模を縮小開催し、運営方法・仕入れ先の開拓・リピーターの開拓と事業のブラッシュアップに努めた。合わせて、バーベキュー事業に門池



## 5. コロナ禍でも工夫をして取り組んだこと

寺小屋教育事業・遊び用具のレンタル事業・自然を体験できる事業など組み合わせ、高付加価値高粗利事業への転換を計画する。

また、公園を活用した既存事業はコロナ感染症対策のうえ、規模の縮小・人数制限・時間短縮など工夫をして取り組んでいる。

## 6. 起業創業マインドの高揚と人材育成

「地域振興プロジェクトチームメンバーが新しいことに挑戦し、新規ビジネスがどんどん生まれ、地域が元気になってほしい」ので令和2年、3年と静岡県地域づくり支援制度を活用して、『起業創業セミナーin門池』『地域リーダー養成講座』を開催し、新規ビジネスの創発と仲間づくり人材育成を図る。令和2年アイデアコンテストからの事業アイデアを形にするために、令和3年『事業のストーリーを描く事、常に経過報告など情報発信に努めて、より多くの共感と感動を共にする事』などの指導を受け、第2のビジネス構築に努める。

## 7. 門池小創立50周年記念事業の推進

「持続可能なコミュニティの形成を目指す」令和3年4月パークマネジメント協定書を締結した

(1)年間を通じたにぎわい・交流を目指した地域住民主体の公園利用のルールづくり、協働の公園運営管理・維持管理を実践している。  
(2)公共空間である公園利活用の実証実験から収益事業を生み出す継続的な活動を展開する。

(3)将来的にはコミュニティビジネス事業収益の一部を水辺の景観・施設整備などに充てることで地域活性化と持続可能な地域コミュニティの形成を目指す。

## 8. 令和4年コミュニティスクールの立ち上げ準備

学校・家庭・地域の三者連携の再構築及び社会教育の視点からの地域づくりを目指す。

## 9. 令和5年の市制100周年・門池地区連合自治会25周年記念事業の準備

門池の竜伝説「千年の恋」芋焼酎の製造販売企画を推進中。この記念販売には沼津市ふるさと納税制度を活用し返礼品としての事業者登録予定である。

(門池コミュニティ推進委員会会長 福田和男)